

第 4 回 中央区自治協議会 会議概要

開催日時	令和 4 年 7 月 29 日（金曜）午後 3 時から午後 5 時まで
会 場	中央区役 5 階 対策室
出席者	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">委 員</div> <p>日野浦委員、高橋(誠)委員、川端委員、高田委員、梅川委員、山田委員、青山委員、樋口委員、中野委員、若槻委員、大竹委員、斉藤委員、吉岡委員、三國委員、影山委員、飯田委員、田中(雅)委員、宮本委員、佐藤委員、阿部委員、池委員、高橋(直)委員、松山委員、小川委員、田邊委員、知野委員、西潟委員、清野委員、梶委員、松川委員、桐生委員、北川委員、若木委員</p> <p>出席 33 名 欠席 5 名 (玉木委員、遠藤委員、小沢委員、田中(鈴)委員、高橋(勝)委員)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">事務局・説明者</div> <p>[新潟市教育委員会]教育支援センター所長 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、保護課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 会議の成立について 委員 38 名中 33 名出席のため、規定により会議は成立 <p>2 報告（議長＝佐藤会長）</p> <p>――自治協議会委員活動報告――</p> <p>(1) 委員からの報告について</p> <p>①区自治協議会会長会議（資料 報1）</p> <p>○ 佐藤会長より、区自治協議会会長会議の開催概要について報告がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 吉岡委員より、年に何回開催されているのか質問があり、佐藤会長より、年に 2 回程度だが、コロナウイルス感染症の影響による中止もあり、第 8 期では 2 回目の開催だったと回答がありました

た。

②新潟市総合計画審議会（資料 報2）

- 北川委員より、新潟市総合計画審議会の開催概要について報告がありました。
- 田中（雅）委員より、この審議会の位置づけ、役割は何かという質問があり、地域課長補佐より、新潟市附属機関設置条例に基づき設置されており、市長が諮問し、各種分野の専門家などから意見をいただくものであると回答がありました。区長より、新潟市総合計画は8年間の計画で、まちづくりの方向性を決めていくものであり、審議会では、素案に対して意見をいただき、4月からこの計画をもとに事業を実施していくと補足がありました。

③信濃川やすらぎ堤利用調整会議（資料 報3）

- 宮本委員より、信濃川やすらぎ堤利用調整協議会の開催概要について報告がありました。
- 樋口委員より、同じく信濃川の河口付近で行っている万代テラスと連携するとより良い事業になるのではないかという意見があり、区長より、今後もミズベリングを実施していく中で様々な取組みを検討していきたいと回答がありました。
- 西潟委員より、ミズベリングと万代テラスは事業者が異なるが、樋口委員が提案したような連携が実現すると良いと思うという意見がありました。

(2) 部会からの報告について（資料 報4-1 4-2 4-3 4-4）

- 「第1部会」中野部会長、「第2部会」高橋（直）部会長、「第3部会」川端部会長、「第4部会」高橋（誠）部会長、「中央区自治協議会だより編集部会」田中（雅）部会長より、各部会の開催概要及び検討内容について報告がありました。
- 樋口委員より、第1部会が行ったクイズ募集について、区だよりを活用してクイズを募集したことは画期的だと思うが、応募が少ないことについては、クイズを作成してくれた方に景品をあ

げることとしていたら、より集まったのではないかという意見がありました。中野部会長より、部会では思いつかなかったが、とても良い発想だと思うと回答がありました。

――各所管課からの説明（報告）――

(3) 中央区区ビジョンまちづくり計画について

- 地域課長補佐より、中央区区ビジョンまちづくり計画策定に向けたスケジュールについて報告がありました。

(4) 令和5年度中央区特色ある区づくり予算について

- 総務課長より、令和5年度中央区特色ある区づくり予算の予算編成スケジュールについて報告がありました。

3 その他

(1) 「新型コロナウイルス感染症患者について」

- 健康福祉課長より、「新型コロナウイルス感染症患者について」のお知らせがありました。

(2) 「令和4年 新潟まつりについて」

- 地域課長補佐より、今年度の新潟まつりについてのお知らせがありました。

(3) 委員からのお知らせ

- 田邊委員より、第1部会のイベントについて、ガチャの作製や当日の手伝い、クイズの応募など協力してほしいと、自治協議会委員に向けてのお願いがありました。

4 委員からの議事提案に基づく討議

(1) 第4部会（若槻委員）からの提案事項（資料 討1）

○ 若槻委員より、選挙における投票所の設置についての市のルールや他地域の投票における課題について聞きたいという提案がありました。

- 総務課長より、投票所の設置条件について説明がありました。

(2) 第4部会（三國委員）からの提案事項（資料 討2）

○ 三國委員より、自主防災組織の現状と課題について、意見交換を行いたいという提案がありました。

- 佐藤会長より、女池校区コミュニティ協議会では、避難所が4か所あるので、4地区に分けて避難訓練をしており、備蓄品については、市から支給されるものに頼らなくともコミュニティ協議会で賄えるよう用意していると報告がありました。

- 高田委員より、避難所を他のコミュニティ協議会と共同で使うことになっており、備品の数や費用負担が今問題となっていると報告がありました。また、学校が避難所となっていると、避難訓練の際、校舎に入れられないなどの問題があり困っていると報告がありました。

- 西潟委員より、避難所の鍵は市職員や地元の住民、学校の教員も持っているので、市職員がいなくとも避難所開設を行うことができ、避難所運営は地元住民が行うことが基本で、市ばかりに頼らないことが大切であるという意見がありました。また、高齢化が進む中で、避難に時間がかかってしまう高齢者の声がけや避難の補助をどう行うかが今後の課題であるという意見がありました。

- 三國委員より、市に対して、自主防災組織は高齢化が進み、防災を地域だけで行うのは難しくなっているため、在り方の再検討をしてほしいという意見がありました。また、備品は何を用意すればいいのか示してほしいという意見がありました。

- 高田委員より、コミュニティ協議会や自治会・町内会が災害時行えることとして、安否確認があると考え、そこに力を入れて訓

	<p>練を行っているという報告がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高橋（誠）委員より、誰でも避難所の運営を行えるように、避難所の入口にマニュアルを設置しておく方が良いという意見がありました。また、市から配布される備品は災害時しか使えないが、訓練でも備品を実際使用してみるためにもコミュニティ協議会で用意しておく方が良いという意見がありました。
	5 閉会
県議・市議	3名
傍聴者	2名
報道機関	0社